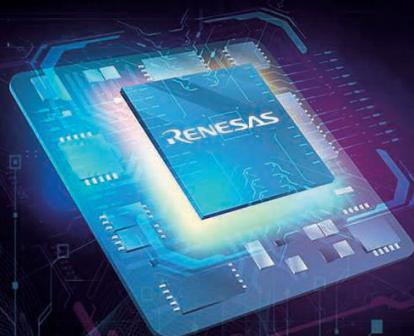


議 決 権  
行 使 期 限

2026年3月24日 (火曜日)  
午後5時30分まで

RENESAS



# 第24期 定時株主総会 招集ご通知

2025年1月1日 ▶ 2025年12月31日

日時

2026年3月25日 (水曜日) 午前9時  
(ログイン開始時間は午前8時30分を予定しております)

開催  
方法

場所の定めのない株主総会  
(バーチャルオンリー株主総会)

\*完全オンラインでの開催となります。お越しいただく  
会場はございませんので、ご注意ください。

## バーチャルオンリー株主総会のご案内



総会の模様をインターネット配信にてご覧  
いただくとともに、議決権のインターネット  
行使が可能です。【詳しくは8頁】



[事前質問受付期限]

2026年3月19日 (木曜日) まで



## 決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役7名選任の件



招集ご通知・ご出席用マニュアルは、  
パソコン・スマートフォン・タブレット端末  
からもご覧いただけます。



[https://www.renesas.com/ja/about/  
investor-relations/event/meeting](https://www.renesas.com/ja/about/investor-relations/event/meeting)

ルネサス エレクトロニクス株式会社  
証券コード：6723

## 目次

- ☐☐ 株主の皆様へ
- ☐☐ 業績ハイライト
- ☐☐ 第24期定時株主総会招集ご通知  
バーチャルオンリー株主総会のご案内  
議決権行使についてのご案内
- ☐☐ 株主総会参考書類  
第1号議案 剰余金の処分の件  
第2号議案 取締役7名選任の件
- ☐ 事業報告
- ☐ 連結計算書類
- ☐ 計算書類
- ☐ 監査報告
- ☐ 冊子で株主の皆様へご発送
- ☐ ウェブサイトに掲載

※書面交付請求をされた株主の皆様には、一部を除き、事業報告、連結計算書類、計算書類および監査報告を合わせてご発送しております。

## <パーパス>

### To Make Our Lives Easier

当社グループは、人々の暮らしを楽（ラク）にする技術で、持続可能な未来をつくることを目指します。

## <ルネサスカルチャー>

当社グループは、世界中の当社グループ組織とそこで働く従業員が絶えず変化する環境に迅速かつ柔軟に対応していくための行動指針として「Transparent、Agile、Global、Innovative、Entrepreneurial」（TAGIE）からなる「ルネサスカルチャー」を推進しています。



## 株主の皆様へ

### 当期を振り返って

当期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）は、世界経済において地政学リスクの高まりが続き、経営環境の不透明感が一段と強まった一年でした。

半導体市場では、AI向けデータセンター製品の需要が加速的に拡大し始めました。AI関連は今後も成長が続くと見込まれ、当社としてもこの潮流を確実に捉えていく考えです。一方、その他の分野では最終需要は一進一退の状況が続きました。産業向けでは、低調な需要とそれに伴う在庫調整の長期化により、調整局面が想定以上に長引きましたが、当期後半にかけては回復基調に移行しました。自動車分野では、自動化・電動化による構造的な成長の勢いが以前に比べてスローダウンしました。加えて、中国勢の急速な台頭を受け、伝統的OEM各社で戦略の見直しが進んだことで、新しいプラットフォームへの移行が先送りされ、需要は軟調に推移しました。中国市場ではAI・EV・ロボティクスを中心に堅調な需要が続き、その存在感が一段と高まりました。

このような環境下においても、当社は規律ある事業運営を堅持してきました。長引く調整局面を次の成長に向けた準備期間と捉えています。外部環境に左右されない長期的な成長の実現に向け、基本に立ち返り、成長領域への投資を加速しています。

当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2025年を持続的かつ飛躍的な成長を遂げるための「Pivot」の年と位置づけました。昨年6月には、「2030 Aspiration」の達成期限を2035年へ改め、Non-GAAP営業利益率の目標も30%から25~30%へと、幅を持たせた運営に見直しました。これにより、組織面・財務面の双方で基盤強化に必要な余地を確保し、長期的な成長に向けた取り組みを進めています。

また、事業環境の変化に柔軟に対応し、継続的にイノベーションを生み出していくため、事業戦略の基本に立ち返る「Back to Basics」を強力に推進しています。重点施策として、生産性の向上、Purposeful（パーパスフル）投資、UX・デジタルイノベーション戦略の加速の3点に注力しました。

その結果、当期の売上収益および営業利益は前期をわずかに下回ったものの、売上総利益は小幅ながらも増加し、全体として一定の利益水準を維持しました。株主還元については、従前と同額の1株当たり28円の期末配当を上程しました。今後も可能な限り安定的な還元を継続してまいります。



取締役  
代表執行役社長兼CEO

柴田英利

## 当期の主な取り組みと今後の注力領域

### ● 生産性の向上

グループ全体で業務課題を抽出し、改善を進めることで、生産性の向上と付加価値創出を図りました。また、従業員間のコラボレーションを促進するため、「Back to Office」の方針を決定し、日本での先行導入を経て、本年1月からグローバルで運用を開始しています。

### ● パーパスフル投資

中長期的な成長を見据え、事業の優先順位を一段と明確化し、戦略領域への重点的な資源配分を進めました。当社のコアである組み込み半導体ソリューション、UX・デジタルイゼーションに加え、当社の技術ロードマップを牽引し、大きな付加価値をもたらす「Vertical事業」を重点領域として位置づけています。

さらに、Software-Defined Vehicle、AIインフラおよびコンピュータ、Intelligence at the Edgeの3つを成長のベクトルと位置づけるSecular Growth分野への投資に一層焦点を絞り、競争力と収益性の向上を目指しています。

その一環として、本年2月にタイミング事業を米国のSiTime社へ30億米ドル（約4,680億円）で譲渡する契約を締結しました。これは、自社で技術投資を継続するよりも、同分野で先行するSiTime社に統合することが最善と判断したためです。併せて、当社の組み込み半導体技術とSiTime社のMEMSタイミング技術を融合したソリューションの共同開発に向けたパートナーシップを検討するための覚書を締結しました。これにより、性能、エネルギー効率、小型化が特に求められるAIデータセンター、ロボットなどの産業機器、自動車のADASシステム、ウェアラブル機器といった分野において、新たな可能性を切り開くことを目指します。譲渡益については、成長投資と株主還元の方策はどちらかへ充当する予定です。

### ● UX・デジタルイゼーション戦略の加速

UXにおいては、お客様の開発を「ラクにする」ための基盤整備を進めるとともに、より早期にニーズを把握することで技術採用の促進につなげています。

新製品の市場投入に向けては、ハードウェアだけでなく、アプリケーションノート、マニュアル、ソフトウェアなど、お客様が「ラクに」製品を使うために必要な要素を揃えた「完全な製品（Whole Product）」として提供する体制の整備を進めています。

また、MathWorks社の開発ツールとの連携により、実機を用いる前の段階で当社マイコンの動作検証が可能となり、立ち上げ時間の短縮につながっています。これにより、ユーザーは開発スピードを加速させるとともに、品質向上に向けた取り組みにより注力することが可能となります。

デジタルイゼーションの取り組みとしては、まず、Altium社が電子機器設計からライフサイクル管理までを一貫して支援するプラットフォームの提供を開始しました。これにより、Altium社は従来の「ECADソフトウェア企業」から電子機器開発プロセス全体を支える「プラットフォーム企業」へと転換しています。さらに、Part Analytics社とDuro Labs社の買収を通じて、同プラットフォームを強化しました。

このAltium社のプラットフォームを基盤として、当社は半導体選定からシステムライフサイクル管理までの電子機器開発を効率化する業界初のプラットフォーム「Renesas 365 Powered by Altium」を発表し、本年3月にドイツで予定される展示会での一般リリリースに向け準備を進めています。

その他の取り組みとして、「India-for-India」の方針のもと、インド政府と組み込み半導体分野におけるスタートアップ企業および教育機関の支援に関する基本合意を締結し、次世代エンジニアの育成を加速しています。また、2024年3月にCG Power and Industrial Solutions社およびStars Microelectronics社と設立した合併会社を通じ、インド・グジャラート州における半導体の組立・テストを担うOSAT工場の構築・運営を進めています。同工場ではパイロットラインがすでに完成しており、2026年末までに量産開始を予定しています。また、量産工場の建設も順調に進捗しています。インドの人員は1,000人規模へ拡大し、ベンガルールやノイダの研究開発拠点も強化しました。中国と並ぶ成長市場として、今後もインドでの事業拡大を進めていきます。

製品については、Secular Growth分野に軸足を置いた製品開発および採用拡大を進めました。

主な採用事例として、ADAS向けSoC「R-Car V4H」が、昨年12月にトヨタ社が発売した新型RAV4のセンサー製TSS制御ユニットに採用され、当社のマイコンやパワーデバイスなど多様な製品と合わせて搭載されています。今後も、インテリジェントな車載技術を通じて、Software-Defined Vehicleの発展を支えていきます。

AIインフラ向けには、AIサーバや充電システムに最適な650V GaNパワー半導体を当社として初めて投入し、2024年6月に買収したTransphorm社のSuperGaN技術を活用することで、従来のSiやSiCを超える低損失・高効率な電力変換を実現しました。

また、エッジAI向けには、22nm NVM技術を搭載した32ビットマイコン「RA8シリーズ」を発表し、「マイコンでAI」を実現するAIアクセラレータ内蔵の「RA8P1」など4製品を展開しました。これらの製品により、産業機器やIoTアプリケーションにおいてフィジカルAIの実装を支えるIntelligence at the Edgeを一層推進しています。

「Pivot」と「Back to Basics」のもと、当期はさまざまな成果を上げることができましたが、私たちの挑戦はまだ途上にあります。短期的にはAI分野を中心とした需要拡大・回復が見込まれる一方、事業環境の変化は依然として激しく、先行きの見通しは容易ではありません。しかし、環境の変化に左右されることなく、「Back to Basics」を徹底し、事業基盤の強化とSecular Growth分野への投資を引き続き加速していきます。

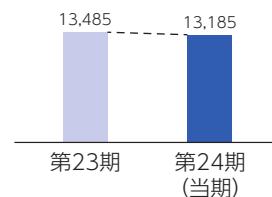
「2035 Aspiration」、そして当社のパーパスである「To Make Our Lives Easier」の実現に向け、成長を続けるルネサスにご期待ください。

## 業績ハイライト

### Non-GAAP

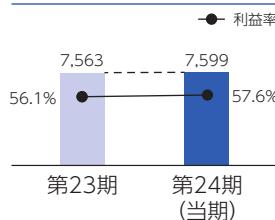
売上収益(単位:億円)

13,185億円



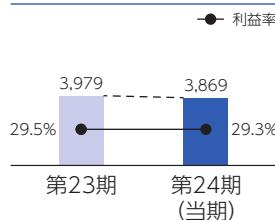
売上総利益(単位:億円)

7,599億円



営業利益(単位:億円)

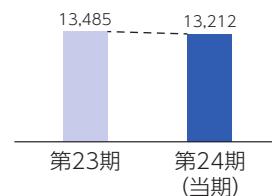
3,869億円



### IFRS

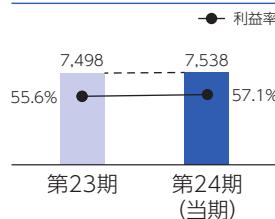
売上収益(単位:億円)

13,212億円



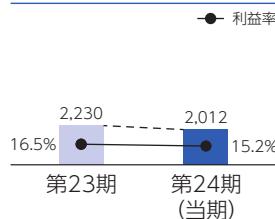
売上総利益(単位:億円)

7,538億円



営業利益(単位:億円)

2,012億円



親会社の所有者に帰属する当期利益(単位:億円)

△518億円



### 配当について

28円

28円



(\*) 剰余金の処分案として本総会に第1号議案として上程、ご承認後実施

証券コード 6723

2026年3月5日

(電子提供措置の開始日 2026年2月27日)

## 株主各位

東京都江東区豊洲三丁目2番24号

ルネサスエレクトロニクス株式会社

取締役 代表執行役社長兼CEO 柴田 英利

### 第24期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第24期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本総会は、法令および当社定款の定めに基づき、インターネット上で開催する「場所の定めのない株主総会」(バーチャルオンリー株主総会)といたします。本総会では、株主の皆様にお越しいただく会場はございませんので、インターネット経由でご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

また、本総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、次の当社ウェブサイト「第24期定時株主総会招集ご通知」として電子提供措置事項(株主総会参考書類等の内容である情報)を掲載しています。

<当社ウェブサイト>

<https://www.renesas.com/ja/about/investor-relations>



これに加え、次の東京証券取引所ウェブサイトにも掲載していますので、銘柄名(会社名)または証券コードを入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を選択のうえ、ご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

<東京証券取引所ウェブサイト>

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



なお、当日ご出席されない場合、または当日ご出席される予定でも通信障害等に対する備えとして、インターネット等または書面により事前に議決権を行使することができますので、是非ご活用ください。これらの方法により議決権を行使される場合、後記の株主総会参考書類をご検討いただき、本招集ご通知11頁のご案内に従って、2026年3月24日(火曜日)午後5時30分までに議決権を行使いただきますよう、お願い申し上げます。

敬 具

## 記

- 1. 日 時** 2026年3月25日（水曜日）午前9時  
※オンライン配信は、午前8時30分開始を予定しています。  
※通信障害等により、本総会を上記日時に開催することが困難となった場合には、予備日として2026年3月27日（金曜日）午前9時から開催します。この場合は、当社ウェブサイト（<https://www.renesas.com/ja/about/investor-relations>）であらためてお知らせします。
- 2. 開催方法** 場所の定めのない株主総会（バーチャルオンリー株主総会）とします。  
※本総会専用ウェブサイト（<https://web.sharely.app/login/renesas24>）にログインし、ご出席ください。詳細は、8頁以降の「バーチャルオンリー株主総会のご案内」をご参照ください。  
※完全オンラインでの開催となりますので、**株主様にお越しいただく会場はございません。**
- 3. 会議の目的事項**  
**報告事項** 第24期（2025年1月1日から2025年12月31日まで）事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告ならびに会計監査人および監査・サステナビリティ委員会の連結計算書類監査結果報告の件  
**決議事項**  
**第1号議案** 剰余金の処分の件  
**第2号議案** 取締役7名選任の件

以 上

- ~~~~~
- ◎本総会の議事における情報の送受信に用いる通信の方法は、インターネットによるものとします。
  - ◎インターネット等または書面により事前に議決権を行使された株主様が本総会に出席された場合において、重複して議決権を行使されたときは、本総会で行使された内容を有効なものとして、また、議決権を行使されなかったときは、事前行使された内容をそのまま有効なものとして、それぞれ取り扱います。なお、株主様が事前に議決権を行使されずに、本総会当日に本総会専用ウェブサイトにごログインされたものの、議決権行使が確認できない場合には、欠席として取り扱います。
  - ◎通信障害等により、本総会の議事に著しい支障が生じた場合に、議長が本総会の延期または継続を決定することができることとするため、本総会の冒頭で、その旨の決議を行います。当該決議に基づき、議長が本総会の延期または続行の決定を行った場合には、2026年3月27日（金曜日）午前9時から本総会の延会または継続会を開催します。この場合は、すみやかに当社ウェブサイト（<https://www.renesas.com/ja/about/investor-relations>）でお知らせします。
  - ◎書面交付請求をされていない株主様には、株主総会参考書類および関連資料を合わせてご送付しています。また、書面交付請求をされた株主様には、法令および当社定款の定めに基づき電子提供措置事項から一部を除いた内容をご送付しています。
  - ◎電子提供措置事項などに修正が生じた場合は、掲載している各ウェブサイトにご修正内容を掲載させていただきます。
  - ◎当社では、サステナビリティの強化のため、会社法上の監査委員会を「監査・サステナビリティ委員会」と呼称しています。
  - ◎当日、出席する役員等は軽装（ビジネスカジュアル）にて対応させていただきますので、ご了承ください。
  - ◎当日は、本総会終了後、インターネット上で株主懇談会を開催しますので、あわせてご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。なお、株主懇談会では、より緊密な意見交換を行うため、本総会とは異なり、ご質問の際は、画面に株主様のお顔を映しながら口頭でご質問いただく方法を採らせていただきます。対応言語は、日本語のみとします。詳細は、本総会専用ウェブサイトの配信画面下部の「資料一覧」ボタンから掲載しているご案内をご参照ください。

## バーチャルオンリー株主総会のご案内

■本総会は、インターネット通信のみを利用した**バーチャルオンリー株主総会**の方式で開催します。

- ・株主様にお越しいただく会場（視聴室を含みます。）はございません。
- ・バーチャルオンリー株主総会へのご出席は、会社法上、株主総会に「出席」したものと取り扱われます。
- ・バーチャルオンリー株主総会では、インターネット上で本総会の議事進行をライブ配信でご視聴いただきながら、本総会の目的事項に関するご質問や議決権行使等を行うことができます。

■次のURLまたはQRコードからアクセスして、本総会にご参加ください。

<https://web.sharely.app/login/renesas24>



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

■バーチャルオンリー株主総会採用の理由

当社取締役会は、当社を取り巻く状況、本総会の議題内容、株主の皆様のご意見等を考慮しながら、本総会の開催方法について検討し、次の理由から、バーチャルオンリー株主総会の方式で本総会を開催することを決定しました。

- ① **参加機会の提供** 株主数が10万名前後に及ぶ最近の状況下においても、会場の物理的な制約を回避し、また、地理的・時間的な制約による影響を最小限に抑えた平等な参加機会を株主様に提供できること
- ② **株主総会の活性化効果** 株主様のご出席するに際して必要な物理的・時間的な負担を軽減することが、株主総会の活性化・効率化・円滑化、ひいては、株主の皆様の利益・便宜に資すると考えられること。実際に、過去の当社ハイブリッド（出席型）株主総会と比べ、当社バーチャルオンリー株主総会の平均出席者数は数倍に増加していること
- ③ **出席者間の平等性** 会場出席とオンライン出席の株主様の間で、参加意識などの点で不平等感が生じがちなハイブリッド型株主総会ではなく、バーチャルオンリー株主総会を選択することで、より平等な形での運営が可能となること
- ④ **海外役員との対話の促進** 海外役員が多い当社において、海外役員も国内の役員と同じ立場で本総会に参加し、株主様のご質問などに回答差し上げることが株主の皆様との対話促進の観点から適切であること
- ⑤ **株主様の賛同** 当社は、バーチャルオンリー株主総会の導入時から毎年、当社定時株主総会にて株主様にアンケートを実施しているところ、昨年のアンケートでも引き続き多くの株主様から好意的なご意見をいただいたこと
- ⑥ **その他の事情** 株主提案がなされるなどの物理的開催が好ましい特殊な状況にないこと

## 株主総会開催前



### バーチャル株主総会システム (Sharely) にアクセスする

事前にアクセス環境を確認する。(ログインの可否、動作環境、通信環境など)  
ログイン画面：<https://web.sharely.app/login/renesas24>  
利用推奨環境：<https://sharely.zendesk.com/hc/ja/articles/360055266634>



### 資料を見る

- ・当社ウェブサイトから確認する。  
<https://www.renesas.com/ja/about/investor-relations/event/meeting>
- ・バーチャル株主総会システム (Sharely) から確認する。  
<https://web.sharely.app/login/renesas24>



### 事前質問をする

- ・バーチャル株主総会システム(Sharely)から事前質問が可能です。
- ・多くの株主様の共通の関心事項については、当日、一括回答を行います。



### 受付期間

2026年3月5日(木) 午前9時～3月19日(木) 午後5時  
※お一人様3問まで(1問当たり最大250文字まで)  
※日本語または英語のみ



### 議決権を行使する

2つの方法で事前に議決権行使が可能です。予期せぬ通信障害などに備え、当日ご出席予定の株主様も、議決権の事前行使にご協力ください。(詳細は11頁をご覧ください)



インターネットによる議決権行使

**期限** 2026年3月24日(火) 午後5時30分まで



書面による議決権行使

**期限** 2026年3月24日(火) 午後5時30分到着分まで

## 株主総会当日 3月25日(水) 午前9時開始



### バーチャル株主総会に出席する

午前8時30分から配信開始予定です。  
<https://web.sharely.app/login/renesas24>



**開催日時** 3月25日(水) 午前9時から



### 質問をする

テキストと音声による質問が可能です。  
詳細は当日のご案内に従ってください。  
(いずれも日本語または英語のみ)

#### [テキスト]

- ・お一人様3問まで(1問当たり最大250文字まで)。

#### [音声]

- ・お一人様3問まで。簡潔にご発言ください。
- ・より多くの株主様にご質問の機会を提供するため、ご発言が長時間に及ぶ場合、おまとめいただくようお声がけすることがあります。ご協力をお願いいたします。
- ・適時にご対応いただけない場合やノイズが酷い場合、発言許可を取消すことがあります。



### 動議を提案する

- ・テキストと音声による動議のご提案が可能です。  
詳細は当日のご案内に従ってください。  
(いずれも日本語または英語のみ)
- ・テキストの場合は1回250文字を目安としてください。



### 議決権を行使する

- ・議長の指示に従って議決権を行使してください。
- ・所定の時間内であれば再行使が可能です。

バーチャル株主総会システムにログインできない!?

**自分で調べる** <https://sharely.zendesk.com/hc/ja>



コールセンターに問い合わせる

03-6683-7661

3月5日(木)以降の平日10:00-17:00  
当日(3月25日)は8:00-株主懇談会終了まで

## 株主総会終了後

以下の動画、書面は準備ができたものから  
随時当社ウェブサイトに掲載します。  
<https://www.renesas.com/ja/about/investor-relations/event/meeting>



### オンデマンド配信を 視聴する

株主総会の様子を配信します。



### 議決権行使結果を 確認する

金融庁に提出する「臨時報告書」  
を掲載します。



### 当日の質問への回答を 確認する

当日回答したものに加え、当日回答できなかったものについても、回答することが不適切なものを除き、原則として、すべてに回答する予定です。

## 議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、**株主の皆様**の大切な権利です。

- ✓ 後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使くださいますよう、お願い申し上げます。
- ✓ 当日ご出席予定の株主様も、予期せぬ通信障害に備え、議決権の事前行使にご協力ください。

### 1. 事前に行行使する場合

お問い合わせ：三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル  
**0120-652-031**（受付時間 午前9時～午後9時、フリーダイヤル）



書面による議決権行使

行使期限

2026年3月24日(火) 午後5時30分到着分まで

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、行使期限までに到着するようご返信ください。

各議案に賛否の意思表示がない場合、賛成の意思表示があったものとしてお取り扱いいたします。



インターネットによる議決権行使

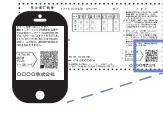
行使期限

2026年3月24日(火) 午後5時30分まで

スマート行使

#### 1 議決権行使書右に記載のQRコードを読み取る。

議決権行使コード・パスワードの入力なしで簡単に議決権行使ができます。



#### 2 以降、画面の案内に従って賛否をご入力ください。



⚠ 議決権行使後に行使内容を変更される場合、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」の入力が必要です。

⚠ インターネットと書面により重複して議決権を行使された場合、インターネットによる議決権行使を有効なものとしてさせていただきます。インターネットにより議決権を複数回行使された場合、最後の議決権行使を有効なものとしてさせていただきます。

機関投資家の皆様は、株式会社ICJが運営する議決権電子行使プラットフォームをご利用いただけます。

### 2. 当日行使する場合

お問い合わせ：システム運営会社 03-6683-7661

バーチャル株主総会システムにログインし、議長の指示に従って議決権をご行使ください。  
<https://web.sharely.app/login/renesas24>



画面のイメージは、下記からご確認ください。

<https://www.renesas.com/ja/document/oth/manual-24th-annual-general-meeting-shareholders>



### インターネット等・書面により事前に議決権を行使された株主様が本総会に出席した場合の取扱い

- ・当日重複して議決権を行使された場合：本総会で行使された内容を有効なものとして取り扱います。
- ・当日議決権を行使されなかった場合：事前行使された内容をそのまま有効なものとして取り扱います。

なお、株主様が事前に議決権を行使されずに、本総会当日に本総会専用ウェブサイトへログインされたものの、議決権行使が確認できない場合には、欠席として取り扱います。

### 通信障害等の対応

- ・通信障害等により、株主様から音声によるご質問を受け付けることが困難となった場合、ご質問方法をテキストのみとさせていただきます。予めご了承ください。
- ・通信障害等により、本総会の議事に著しい支障が生じた場合に、議長が本総会の延期または継続を決定することができるため、本総会の冒頭で、その旨の決議を行います。当該決議に基づき、議長が本総会の延期または続行の決定を行った場合には、2026年3月27日（金）午前9時から本総会の延会または継続会を開催します。この場合は、すみやかに当社ウェブサイトでお知らせします。

<https://www.renesas.com/ja/about/investor-relations>



### 本総会の議事における情報の送受信に用いる通信の方法としてインターネットを使用することに支障がある株主様の利益の確保に関する方針の概要

議決権行使をご希望の株主様のうち、インターネットを使用することに支障のある株主様におかれましては、書面により事前に議決権を行使くださいますよう、お願い申し上げます。

### 代理人による出席方法

議決権を有する他の株主様1名を代理人として、議決権を行使することができます。

ご希望の株主様は、本総会に先立ち、当社に「代理の意思表示を記載した書面」（委任状）のご提出が必要になりますので、以下の提出先までご送付ください。

なお、委任状の様式は、本総会専用ウェブサイトの配信画面下部の「資料一覧」ボタンから掲載している資料をご参照ください。

### 【必要書類】

- ①委任状 ※委任される株主様の自署または押印（認印）をお願いします。
- ②委任する株主様の議決権行使書のコピー
- ③委任された株主様（受任者）の議決権行使書のコピー

### 【提出先】

電子メール：agm@lm.renesas.com  
郵送：東京都江東区豊洲三丁目2番24号  
ルネサスエレクトロニクス(株) 株主総会運営事務局宛

### 【提出期限】

2026年3月18日（水）午後5時必着  
※提出期限までに必要書類が到達しなかった場合は、代理人による出席は認められません。  
※必要書類に不備があった場合は、代理人による出席が認められないことがあります。

### その他の注意事項

1. 本総会は、日本語を用いて開催します。ただし、株主様の便宜のため、バーチャル株主総会システムで、英語を選択いただくことで、同時通訳による英語でのご視聴および議決権行使も可能です。なお、日本語と英語の内容に齟齬が生じた場合、日本語の内容を優先させていただきます。
2. 本総会へのご出席のための場所および通信環境・機器は株主様ご自身でご用意いただく必要があります。ご出席のための接続料金、通信料等の一切の費用は、株主様の負担となります。ご利用されるパソコン等の通信機器類、インターネット環境の不具合、株主様の通信環境等を原因として、株主様が本総会に出席できない場合や議決権を行使できない場合等もありますことをご了承ください。
3. 通信環境等の影響により、配信映像や音声の乱れ、一時中断等の通信障害および送受信のタイムラグが発生する可能性があります。株主様が本総会に出席できない場合や議決権を行使できない場合があります。当社は、本総会の開催にあたり、合理的な範囲で通信障害等への対策を行います。これらにより本総会に出席された株主様が被った不利益に関し、一切の責任を負いかねます。
4. 本総会に出席いただくためのID・パスワード等を第三者に共有すること、本総会の模様を録音、録画、公開等することは、固くお断りいたします。
5. 当社がやむを得ないと判断した場合、本総会の内容を一部変更または中止させていただく場合がございます。
6. システム障害等の緊急の事態や事情変更への対応等、本総会の運営に変更が生じる場合には、当社ウェブサイトでお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

<https://www.renesas.com/ja/about/investor-relations>



第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、企業価値の最大化の観点から、急激な環境の変化に対応し、グローバルな競争に勝ち残るため、新製品・技術の研究開発、設備投資等の戦略的な投資に向けた内部留保を確保し、強靱な財務体質を実現しつつ、継続的かつ安定的にその利益の一部を株主の皆様へ還元することを基本方針としています。

以上の基本方針のもと、当期（第24期）の期末配当につきましては、連結および個別の利益剰余金の状況、連結の利益の状況、翌期以降の利益見通しおよびキャッシュ・フローの状況などを勘案し、次のとおり1株当たり28円とさせていただきますと存じます。

なお、この金額は、前期の期末配当額と同額であります。

当社としては、今後も株主の皆様に対して、可能な限り継続的かつ安定的な利益還元を行うべく、当社グループの事業戦略の基本に立ち返る「Back to Basics」の方針を強力に推進し、中長期的な経営目標である「2035 Aspiration」（2035年までに、組み込み半導体ソリューションサプライヤートップ3、売上収益：200億米ドル以上、時価総額：2022年比6倍）の達成に注力したいと存じます。

株主の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

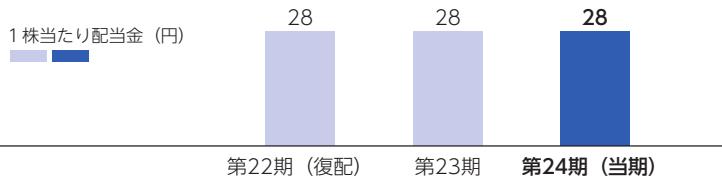
1. 配当財産の割当に関する事項およびその額

当社普通株式1株につき金28円 総額50,813,773,752円

2. 剰余金の配当が効力を生じる日

2026年3月30日（月曜日）

「ご参考」 1株当たり配当金の推移



(注) 第24期（当期）の配当金は、本議案が原案どおり承認可決されることを前提とした数値を記載しています。

## 第2号議案 取締役7名選任の件

本総会終結の時をもって、取締役全員（6名）の任期が満了となります。

つきましては、取締役会の構成を充実させ、多様性と透明性をより一層高め、経営へのモニタリング機能を強化するため、現任の取締役6名に加え、社外取締役1名を増員し、取締役7名の選任をお願いしたいと存じます。

当社は、指名委員会等設置会社の形態を採用しており、各取締役候補者については、委員の全員が社外取締役で構成される指名委員会で決定しています。

指名委員会の決定に基づく取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名(年齢)	現在の当社における地位および担当	取締役在任期間	出席状況(出席回数/開催回数)			
				取締役会	指名委員会	報酬委員会	監査・サステナビリティ委員会
1	再任 男性 しばた ひでとし 柴田 英利 (満53歳)	取締役 代表執行役社長兼CEO 報酬委員	10年8ヶ月	5回/5回 (100%)	-	4回/4回 (100%)	-
2	再任 男性 社外 独立役員 いわさき じろう 岩崎 二郎 (満80歳)	社外取締役 筆頭独立社外取締役 指名委員(委員長) 監査・サステナビリティ委員	9年9ヶ月	5回/5回 (100%)	6回/6回 (100%)	-	7回/7回 (100%)
3	再任 女性 社外 独立役員 セレナ ロウ ラクロア Selena Loh Lacroix (満61歳)	社外取締役 報酬委員(委員長) 指名委員	6年	5回/5回 (100%)	6回/6回 (100%)	4回/4回 (100%)	-
4	再任 男性 社外 独立役員 やま もと のぼる 山本 昇 (満63歳)	社外取締役 報酬委員 監査・サステナビリティ委員 ESGスポンサー	5年	5回/5回 (100%)	-	4回/4回 (100%)	7回/7回 (100%)
5	再任 男性 社外 独立役員 ひらの たく や 平野 拓也 (満55歳)	社外取締役 指名委員	3年	5回/5回 (100%)	6回/6回 (100%)	-	-
6	再任 女性 社外 独立役員 みずの とも こ 水野 朝子 (満55歳)	社外取締役 監査・サステナビリティ委員 (委員長) 報酬委員	2年	5回/5回 (100%)	-	4回/4回 (100%)	7回/7回 (100%)
7	新任 女性 社外 独立役員 キンバリー マティセン Kimberly Mathisen (満53歳)	-	-	-	-	-	-

- (注) 1. 柴田英利氏の取締役在任期間は、過去における取締役在任期間の合計を記載しています。  
 2. Selena Loh Lacroix氏およびKimberly Mathisen氏は、外国籍の取締役候補者です。  
 3. 当社は、サステナビリティの強化のため、会社法上の監査委員会を「監査・サステナビリティ委員会」と呼称しています。

<本議案が可決された場合の取締役会・委員会の構成比率>



スキル(専門性・経験)							就任予定委員会委員		
経営・リーダーシップ	国際ビジネス	半導体・テクノロジー業界	ソフトウェア・デジタル	ファイナンス	リスクマネジメント・ガバナンス	人的資本マネジメント	指名	報酬	監査・サステナビリティ
●	●	●		●	●			○	
●	●			●	●	●	○ (委員長)		○
	●	●			●	●	○	○ (委員長)	
●	●			●	●			○	○
●	●		●		●		○		
●	●				●			○	○ (委員長)
●	●		●		●		○		

- (注) 4. 就任予定の委員は、本総会終結後に開催される取締役会において決定される予定のものを記載しています。  
 5. スキル(専門性・経験)の内容は、次頁をご参照ください。

## 株主総会参考書類

### 《スキル（専門性・経験）の内容》

スキル	スキルの意義・選定理由
経営・リーダーシップ	企業の経営や事業・組織のマネジメントの経験を通じて、当社の経営および事業・組織の運営全般に関する多岐にわたる問題や課題について、取締役が効果的な監督・助言を行い、意思決定に貢献することが可能となります。
国際ビジネス	当社は、国際的に事業を展開し、グローバル市場で競争を行っており、世界中の従業員、サプライヤー、顧客その他のステークホルダーに適切に対処することが必要不可欠です。 グローバルに展開されるビジネスにおける経験を通じて、これらの事項について、取締役が効果的な監督・助言を行い、意思決定に貢献することが可能となります。
半導体・テクノロジー業界	当社が事業を展開する半導体業界は、技術革新や進歩のスピードが早く、激しい競争が行われています。 半導体業界または類似の特徴を有する他のテクノロジー業界におけるイノベーションやその他の経験を通じて、これらに関する事項について、取締役が効果的な監督・助言を行い、意思決定に貢献することが可能となります。
ソフトウェア・デジタル	当社は、半導体を使用した製品の設計や活用のためのソフトウェアソリューションやプラットフォームの提供を中心とするデジタルライゼーション戦略を推進しています。 ソフトウェア業界やデジタルライゼーションの分野における経験を通じて、これらに関する事項について、取締役が効果的な監督・助言を行い、意思決定に貢献することが可能となります。
ファイナンス	当社は、将来の成長を加速させるため、健全な財務基盤を構築・維持しつつ、戦略的な投資やM&Aに継続して取り組んでいます。 M&A、キャピタルアロケーション、コーポレートファイナンスまたは財務・会計等に関する専門的な知識や経験を通じて、これらに関する事項について、取締役が効果的な監督・助言を行い、意思決定に貢献することが可能となります。
リスクマネジメント・ガバナンス	当社は、グローバルに事業を展開する中で、各国の法規制から地政学的問題に至るまで、幅広いリスクに直面しています。そのため、効果的なガバナンスのもと、これらのリスクを迅速に把握し、その最小化のため適切に対処することが非常に重要となります。 リスクマネジメント、法務・コンプライアンス（サステナビリティ、ESGに関する事項を含みます。）および上場企業の取締役会または委員会の活動に関する専門的な知識や経験を通じて、これらに関する事項について、取締役が効果的な監督・助言を行い、意思決定に貢献することが可能となります。
人的資本マネジメント	当社が競争の激しいグローバル市場で成功し、変革を通じて成長し続けるためには、効果的な人的資本戦略・施策を推進し、優秀な人材を採用し、育成し、定着させていくことが不可欠です。 人材や人的資本のマネジメントに関する経験を通じて、これらに関する事項について、取締役が効果的な監督・助言を行い、意思決定に貢献することが可能となります。

## 株主総会参考書類

### 《ご参考：当社社外取締役の独立性基準の概要》

会社法上の要件および東京証券取引所の定める独立性基準を満たし、かつ次の分類のいずれにも該当しない者のみが当社の社外取締役となるための十分な独立性を有しているものとみなされます。

- 事業上の関係（当社の重要な顧客）  
当社の重要な顧客（過去3年間における当該顧客に対する連結売上高の当社の連結売上高に占める割合の各年度の平均が2%を超える顧客、または、これに準じる重要性を有する当社製品の直接または間接の需要者をいいます。）の役職員である場合
- 事業上の関係（当社を重要な顧客とする取引先）  
当社を重要な顧客とする取引先（過去3年間における当社に対する連結売上高の当該取引先の連結売上高に占める割合の各年度の平均が2%を超える取引先をいいます。）の役職員である場合
- 事業上の関係（重要な資金調達先）  
当社の連結総資産（直近事業年度末）の2%を超える資金を当社に提供する金融機関その他資金調達先の役職員である場合
- 事業上の関係（専門家）  
本人または本人が所属する組織が当社に対して専門的なサービス（会計、法律またはコンサルティングサービスを含みますが、これらに限りません。）を提供している場合（組織によるサービス：過去3年間に提供されたサービスに対する報酬額（連結ベース）が当該組織の連結売上高に占める割合の各年度の平均が2%を超える場合。個人によるサービス：過去3年間における報酬額（連結ベース）の平均額が1,000万円を超える場合）
- 資本関係（主要株主・出資先）  
・本人または本人が役職員を務める組織が当社の総株主の議決権の10%以上の議決権を直接または間接に保有している場合  
・本人が役員を務める組織の主要株主または出資者（総株主の議決権または総出資額の10%以上）に当社または子会社が含まれる場合
- その他の重要な関係（従業員）  
本人が当社または当社の子会社の従業員である場合
- その他の重要な関係（会計監査人）  
本人が当社の会計監査人の社員もしくはパートナーまたは当社の監査を担当したメンバーである場合
- その他の重要な関係（寄付先）  
本人が当社または当社の子会社から過去3年間のいずれかの年において1,000万円を超える寄付金を受領している場合またはかかる寄付金を受領している組織の役職員である場合
- その他の重要な関係（近親者）  
本人が当社または当社の子会社の経営を管理する者（執行役員以上の者）または過去3年間にこれらの立場にあった者の配偶者、2親等以内の近親者または同居者である場合

上記1ないし5、7および8については過去3年間、6については過去10年間にこれらに該当した者を含みます。

## 株主総会参考書類

候補者番号 1

しばた ひでとし  
柴田 英利

再任 報酬

1972年11月16日生（満53歳）



### 在任期間

10年8ヶ月

### 所有する当社株式

820,800株

### 出席状況

#### 取締役会

5回／5回（100%）

#### 報酬委員会

4回／4回（100%）

### スキル（専門性・経験）



経営・リーダーシップ



国際ビジネス



半導体・テクノロジー業界



ファイナンス



リスクマネジメント・ガバナンス

### 取締役候補者とした理由

柴田英利氏は、グローバルかつ多様な企業経営の経験により培われた豊富な経験・見識と実績を有しています。同氏は、2013年10月から当社経営に携わり、特に、2019年7月から代表取締役社長兼CEO、そして、2024年3月からは当社代表執行役社長兼CEOとして、当社の経営全般をリードし、持続的な成長を達成してきました。同氏が引き続きこのような経験・見識と実績に基づくリーダーシップを発揮し、当社のさらなる企業価値の向上を実現することを期待し、取締役候補者となりました。

## 株主総会参考書類

候補者番号 2

いわさき じろう  
岩崎 二郎

再任 社外 独立役員 指名 監査

1945年12月6日生（満80歳）



### 在任期間

9年9ヶ月

### 所有する当社株式

0株

### 出席状況

#### 取締役会

5回／5回（100%）

#### 指名委員会

6回／6回（100%）

#### 監査・サステナビリティ委員会

7回／7回（100%）

### スキル（専門性・経験）



経営・リーダーシップ



国際ビジネス



ファイナンス



リスクマネジメント・ガバナンス



人的資本マネジメント

### 略歴、地位および担当

- 1974年4月 東京電気化学工業(株)（現TDK(株)）入社
- 1996年6月 同社 取締役 人事教育部長
- 1998年6月 同社 常務取締役 記録メディア事業本部長
- 2006年6月 同社 取締役専務執行役員 アドミニストレーショングループ ジェネラルマネージャー
- 2008年3月 GCAサヴィアン(株)（現フーリハン・ローキー(株)）社外監査役
- 2009年6月 JVC・ケンウッド・ホールディングス(株)（現(株)JVCケンウッド）取締役執行役員常務コーポレート戦略部長
- 2011年3月 SBSホールディングス(株) 社外監査役
- 同年4月 帝京大学 経済学部 教授
- 2015年3月 SBSホールディングス(株) 社外取締役（現任）
- 2016年3月 GCAサヴィアン(株)（現フーリハン・ローキー(株)）社外取締役（常勤監査等委員）
- 同年6月 当社 社外取締役（現任）

### 重要な兼職の状況

SBSホールディングス(株) 社外取締役

### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

岩崎二郎氏は、電機・電子部品業界の複数の会社で業務執行取締役として長年にわたる経営経験を有しており、また、上場企業での社外役員の経験も豊富です。同氏は、これらの豊富な経験や、それにより培われた高い見識を活かし、2016年6月から当社社外取締役として、当社経営全般を適切に監督しており、現在は筆頭独立社外取締役を務めています。さらに、指名委員会の委員長として、同委員会の活動をリードするとともに、監査・サステナビリティ委員として、同委員会の機能強化に貢献しています。同氏が、引き続き、当社の経営全般に対する適切な監督機能を発揮し、当社取締役会の機能強化に貢献することを期待し、社外取締役候補者となりました。

## 株主総会参考書類

候補者番号 **3**



**在任期間**  
6年

**所有する当社株式**  
61,278株

**出席状況**

**取締役会**  
5回/5回 (100%)

**指名委員会**  
6回/6回 (100%)

**報酬委員会**  
4回/4回 (100%)

セレナ ロウ ラクロア  
**Selena Loh Lacroix**

**再任** **社外** **独立役員** **指名** **報酬**  
1964年11月18日生 (満61歳)

### 略歴、地位および担当

1988年 シンガポール法律事務所 入所 アソシエイト弁護士

1992年 8月 Gray Cary Ware & Freidenrich法律事務所 (現DLA Piper法律事務所) 入所 アソシエイト弁護士

1995年 6月 Texas Instruments社 シニアカウンセラー

2004年12月 Honeywell International社 入社 アジアパシフィック地域 ヴァイスプレジデント兼ジェネラルカウンセラー

2010年 5月 Egon Zehnder社 グローバルセミコンダクタープラクティス リーダー、グローバルリーガル、レギュレーション&コンプライアンスプラクティス リーダー

2016年12月 Integrated Device Technology社 社外取締役 (2019年3月退任)

2017年 6月 Egon Zehnder社 グローバルテクノロジー&コミュニケーションプラクティス リーダー

同年11月 National Association of Corporate Directors (NACD) North Texas Chapter ボードメンバー (非常勤) (現任)

2019年12月 Korn Ferry社 入社 テクノロジープラクティス ヴァイスチェア (現任)

2020年 3月 当社 社外取締役 (現任)

### 重要な兼職の状況

Korn Ferry社 テクノロジープラクティス ヴァイスチェア

National Association of Corporate Directors (NACD) North Texas Chapter ボードメンバー (非常勤)

### スキル (専門性・経験)



### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

Selena Loh Lacroix氏は、半導体業界や経営人材コンサルティングなどの業界での長年の経験を通じて培われた、法務、人材およびコーポレートガバナンスの分野におけるグローバルかつ豊富な経験や高い見識を有しています。同氏は、2020年3月から当社社外取締役として、当社経営全般を適切に監督しています。また、現在は、報酬委員会の委員長として、同委員会の活動をリードするとともに、指名委員として、指名委員会の機能強化に貢献しています。同氏が、引き続き、当社の経営全般に対する適切な監督機能を発揮し、当社取締役会の機能強化に貢献することを期待し、社外取締役候補者となりました。

## 株主総会参考書類

候補者番号 **4**



**在任期間**  
5年

**所有する当社株式**  
0株

**出席状況**

**取締役会**  
5回/5回 (100%)

**報酬委員会**  
4回/4回 (100%)

**監査・サステナビリティ委員会**  
7回/7回 (100%)

やまもと のぼる  
**山本 昇**

**再任** **社外** **独立役員** **報酬** **監査**  
1962年11月21日生 (満63歳)

### 略歴、地位および担当

1986年 4月 マツダ(株) 入社

1989年 5月 大和証券(株) 入社

2002年 2月 プライスウォーターハウスクーパース・フィナンシャル・アドバイザー・サービス(株) (現PwCアドバイザー合同会社) 入社 マネージングディレクター

2003年 4月 (株)ラザードフレール 入社 マネージングディレクター

2006年10月 日興シティグループ証券(株) (現シティグループ証券(株)) 入社 投資銀行本部 マネージングディレクター

2011年10月 ビー・エヌ・ピー・パリバ銀行東京支店 入行 投資銀行本部 共同本部長

2016年 6月 日立工機(株) (現工機ホールディングス(株)) 社外取締役 (現任)

同年 9月 XIBキャピタルパートナーズ(株) (現XIB(株)) 代表取締役・代表パートナー兼CEO (現任)

2018年 3月 (株)ツバキ・ナカシマ 社外取締役

同年 同月 当社 社外監査役

2021年 3月 当社 社外取締役 (現任)

2023年 4月 (株)ツバキ・ナカシマ 社外取締役 取締役会議長 (現任)

2024年 4月 マレリ(株) 社外取締役 (現任)

### 重要な兼職の状況

XIB(株) 代表取締役・代表パートナー兼CEO (株)ツバキ・ナカシマ 社外取締役 取締役会議長  
工機ホールディングス(株) 社外取締役 マレリ(株) 社外取締役

### スキル (専門性・経験)



### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

山本 昇氏は、複数の国際的な金融・証券会社で勤務した後、M&Aアドバイザー会社の代表を務めており、これらを通じて培われた経営および財務に関する豊富な経験や高い見識を有し、また、複数の上場企業で社外取締役を歴任しています。同氏は、当社社外監査役を経て、2021年3月から当社社外取締役として、当社経営全般を適切に監督しています。また、現在は、報酬委員会および監査・サステナビリティ委員会の委員として、各委員会の機能強化に貢献し、かつ、取締役会におけるESGスポンサーを務めています。同氏が、引き続き、当社の経営全般に対する適切な監督機能を発揮し、当社取締役会の機能強化に貢献することを期待し、社外取締役候補者となりました。

## 株主総会参考書類

候補者番号 5

ひらの たくや  
平野 拓也

再任 社外 独立役員 指名

1970年8月11日生 (満55歳)



在任期間  
3年

所有する当社株式  
0株

出席状況

取締役会  
5回/5回 (100%)

指名委員会  
6回/6回 (100%)

### 略歴、地位および担当

- 1995年12月 兼松(株) 米国法人 入社
- 1998年2月 Hyperion Solutions社 (現Oracle社) 入社
- 2001年2月 ハイペリオン(株) 日本法人 社長
- 2005年8月 マイクロソフト(株) (現日本マイクロソフト(株)) ビジネス&マーケティング部門 シニアディレクター
- 2006年2月 同社 執行役員 エンタープライズサービス担当
- 2007年7月 同社 執行役員常務 エンタープライズビジネス担当兼エンタープライズサービス担当
- 2008年3月 同社 執行役員常務 エンタープライズビジネス担当
- 2011年9月 Microsoft Central and Eastern Europe社 マルチカントリー ジェネラルマネージャー
- 2014年7月 日本マイクロソフト(株) 執行役員専務 マーケティング&オペレーションズ担当
- 2015年3月 同社 代表執行役員 副社長
- 同年7月 同社 代表取締役社長
- 2019年9月 Microsoft社 グローバルサービスパートナービジネス ヴァイスプレジデント
- 2022年6月 横河電機(株) 社外取締役 (現任)
- 同年10月 弥生(株) 社外取締役
- 2023年3月 当社 社外取締役 (現任)
- 同年4月 弥生(株) 取締役会長 (非常勤) (現任)
- 2024年6月 富士通(株) 社外取締役 (現任)

### 重要な兼職の状況

横河電機(株) 社外取締役 弥生(株) 取締役会長 (非常勤) 富士通(株) 社外取締役

### スキル (専門性・経験)



### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

平野拓也氏は、Microsoft社において、国内外の複数のリーダーポジションを歴任し、ソフトウェア・テクノロジー業界、事業変革および多文化間のリーダーシップに関する豊富な経験や高い見識を有しています。また、複数の上場企業で社外取締役を務めています。同氏は、2023年3月から当社社外取締役として、当社経営全般を適切に監督し、また、指名委員会の委員として、同委員会の機能強化に貢献しています。同氏が、引き続き、当社の経営全般に対する適切な監督機能を発揮し、当社取締役会の機能強化に貢献することを期待し、社外取締役候補者となりました。

## 株主総会参考書類

候補者番号 6

みずの ともこ  
水野 朝子

再任 社外 独立役員 報酬 監査

1970年9月1日生 (満55歳)



在任期間  
2年

所有する当社株式  
0株

出席状況

取締役会  
5回/5回 (100%)

報酬委員会  
4回/4回 (100%)

監査・サステナビリティ  
委員会  
7回/7回 (100%)

### 略歴、地位および担当

- 1994年7月 ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド 入社
- 2001年9月 Eli Lilly & Company社 入社 マーケティングアソシエイト
- 2003年1月 日本イーライリリー(株) 入社 シニアMR
- 2005年6月 ノバルティスファーマ(株) 入社 新製品企画部 ブランドマネージャー
- 2009年1月 同社 エクスマーケティンググループ グループマネージャー
- 2011年4月 MSD(株) 入社 ガーダシルマーケティンググループ ブランドリーダー
- 2013年4月 日本オートマチックマシン(株) 取締役 (現任)
- 2021年3月 当社 社外監査役
- 2024年3月 当社 社外取締役 (現任)

### 重要な兼職の状況

日本オートマチックマシン(株) 取締役

### スキル (専門性・経験)



### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

水野朝子氏は、機械・電子部品メーカーでの企業経営、国際的なコンサルティング会社や製薬会社での勤務を通じて、経営企画、人事等に関する豊富な経験や高い見識を有しています。同氏は、当社社外監査役を経て、2024年3月から当社社外取締役として、当社経営全般を適切に監督しています。また、現在は、監査・サステナビリティ委員会の委員長として、同委員会の活動をリードするとともに、報酬委員として、報酬委員会の機能強化に貢献しています。同氏が、引き続き、当社の経営全般に対する適切な監督機能を発揮し、当社取締役会の機能強化に貢献することを期待し、社外取締役候補者となりました。

## 株主総会参考書類

候補者番号

7

キンバリー マティセン

Kimberly Mathisen

新任

社外

独立役員

1972年5月24日生（満53歳）



### 在任期間

—

### 所有する当社株式

0株

### 出席状況

—

### 略歴、地位および担当

- 1994年7月 Procter & Gamble社 入社
- 2000年6月 ASK Jeeves社 インターナショナルビジネスデベロップメント アソシエイト  
同年7月 Appear Networks Systems社 共同創業者
- 2001年10月 Eli Lilly & Company社 入社
- 2007年9月 同社 ドイツ地域 ジェネラルマネージャー
- 2011年1月 NHST Holding社 社外取締役  
同年3月 Eli Lilly & Company社 米国地域 ヴァイスプレジデント兼グローバルアライアンスリーダー
- 2013年6月 Orkla Home & Personal Care社 CEO
- 2016年9月 Microsoft社 ノルウェー地域 ジェネラルマネージャー
- 2019年5月 Yara International社 社外取締役
- 2020年5月 同社 取締役会ヴァイスチエア（非常勤）
- 2022年1月 HUB Ocean社 CEO（現任）  
同年5月 Aker BioMarine社 社外取締役（2026年4月退任予定）  
同年9月 Bayer社 スーパーバイザリーボードメンバー（非常勤）（現任）
- 2023年5月 Aker Horizons社 社外取締役

### 重要な兼職の状況

- HUB Ocean社 CEO
- Bayer社 スーパーバイザリーボードメンバー（非常勤）
- Aker BioMarine社 社外取締役（2026年4月退任予定）

### スキル（専門性・経験）



経営・  
リーダーシップ



国際ビジネス



ソフトウェア・  
デジタル



リスクマネジメント・  
ガバナンス

### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

Kimberly Mathisen氏は、米国・ドイツ・ノルウェーの各国において、ソフトウェアおよび医薬品等の世界的企業の複数のリーダーポジションを歴任し、ソフトウェア・テクノロジー業界や、複数の世界的企業における多文化間のリーダーシップに関する豊富な経験や高い見識を有しています。さらに、現在は海洋データに関する非営利企業のCEOを務めているほか、欧州の複数の上場企業で社外取締役の経験を有しています。同氏が、これらの知見に基づき、当社の経営全般に対する適切な監督機能を発揮し、当社取締役会の機能強化に貢献することを期待し、社外取締役候補者となりました。

## 株主総会参考書類

- (注) 1. 各取締役候補者と当社の間には、特別な利害関係はありません。
2. 各候補者の所有株式数は、2025年12月31日現在における株式数を記載しています。
3. 岩崎二郎、Selena Loh Lacroix、山本 昇、平野拓也、水野朝子およびKimberly Mathisenの各氏は、社外取締役候補者です。
4. 岩崎二郎、Selena Loh Lacroix、山本 昇、平野拓也、水野朝子およびKimberly Mathisenの各氏は、東京証券取引所が定める独立役員としての要件および当社が定める「社外取締役の独立性基準」を満たしています。当社は、岩崎二郎、Selena Loh Lacroix、山本 昇、平野拓也および水野朝子の各氏を独立役員として指定し、同取引所に届け出ており、各氏が再任された場合、これを継続する予定です。また、Kimberly Mathisen氏の選任が承認された場合、同氏を独立役員として同取引所に届け出る予定です。
5. 監査・サステナビリティ委員となる予定の各取締役候補者は、次のとおり、いずれも財務および会計に関する相当程度の知見を有しています。
- ①水野朝子氏は、国際的なコンサルティング会社や製薬会社において経営企画等に関する業務に従事した後、現在、機械・電子部品メーカーで業務執行取締役として事業運営に携わっています。また、過去、当社の社外監査役として監査業務を行った経験を有しています。
- ②岩崎二郎氏は、複数の大手電子部品・電機メーカーにおいて業務執行取締役として事業運営に携わった後、複数の上場企業において社外取締役（常勤監査等委員を含みます。）や社外監査役を歴任しています。
- ③山本 昇氏は、国際的な金融・証券会社等で勤務した後、現在、M&Aアドバイザリー会社の代表を務めるとともに、上場企業の社外取締役（監査等委員会委員長を含みます。）等を歴任しています。また、過去、当社の社外監査役として監査業務を行った経験を有しています。
6. 当社は、岩崎二郎、Selena Loh Lacroix、山本 昇、平野拓也および水野朝子の各氏との間で、当社定款に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任について、当社定款に定める最低責任限度額を限度とする旨の責任限定契約を締結しており、各氏が再任された場合、当該契約を継続する予定です。また、Kimberly Mathisen氏の選任が承認された場合、当社は、同氏との間で、当該契約と同様の責任限定契約を締結する予定です。
7. 当社は、保険会社との間で役員等賠償責任保険（D&O保険）契約を締結しており、今後更新する予定です。当該保険においては、各取締役候補者が当社職務の遂行に関連して損害賠償請求を受けたことにより負担することとなる損害・費用が填補され、保険料は当社が負担しています。

以上

<メ 毛 欄>

Handwriting practice area on page 27, consisting of 20 horizontal dashed lines.

<メ 毛 欄>

Handwriting practice area on page 28, consisting of 20 horizontal dashed lines.

<メ 毛 欄>

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 20 lines.

<メ 毛 欄>

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 20 lines.

## 株主メモ

- 事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 事業年度の末日の翌日から起算して3ヶ月以内
- 基準日 毎年3月31日  
毎年6月30日  
毎年9月30日  
毎年12月31日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) フリーダイヤル 0120-782-031  
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- 上場証券取引所 東京証券取引所

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いします。